

米原警察署協議会議事録

開催日時	令和6年12月11日（水）午後3時30分～午後5時00分	
開催場所	米原警察署 4階会議室	
出席者	委員	藤本敦子会長、川瀬秀樹副会長、角田峰治委員、冨田正子委員、馬淵英樹委員
	警察	宮内署長、安田次長（警務課長兼警備課長）、桐畑会計課長、清水留置管理課長、坂口生活安全課長、大橋地域課長、岡本刑事課長、濱交通課長
議事概要	<p>1 会長挨拶</p> <p>会長から「先日、自動運転の車を拝見する機会があり、時代変化の多様性を改めて感じた。国内で起きる事件も様々に形を変え、警察の対応も多様化が必要で、多角的な視点から考えた対応が大事であると感じている。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>2 署長挨拶</p> <p>署長から「当署員一丸となり、歳末特別警戒を実施中である。匿名・流動型犯罪の懸念を念頭に置いた抑止活動も強化している。また、来春から米原駅前交番の署所在地運用が決定しているため、御理解いただきたい。」旨の挨拶がなされた。</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 警察署協議会代表者会議の結果報告</p> <p>委員から、11月7日に警察本部において開催された警察署協議会代表者会議の結果報告があった。</p> <p>(2) 議題（地域警察活動について）</p> <p>警察から、交番・駐在所の現況、米原駅前交番の署所在地運用、啓発活動、各種取組状況等について説明がなされた。その際、委員から「不審者に挨拶するなどの声掛けが犯行を断念させる契機ともなり、抑止効果へとつながる。地域一体となった啓発などの取組が大事である。」旨の提言がなされ、警察から「声掛けにより犯行を断念させる対応は、犯罪心理学的にも提唱されている。継続した取組が抑止効果を高める。」旨の説明がなされた。</p> <p>委員から「米原駅前交番の署所在地化は恒久的な運用なのか。また、外観上</p>	

は署所在地が明確に認識できるのか。」旨の質問がなされ、警察から「来春から恒久的な運用が決定しており、外観の施工は検討中である。」旨の説明がなされた。

委員から「交番などの広報紙の配布状況を教えてほしい。」旨の質問がなされ、警察から「毎月発行の広報紙は、自治会単位に配布して回覧し、治安情勢や注意喚起となる情報などを提供・共有している。」旨の説明がなされた。また、委員から「全戸配布もしくは自治体発行の広報誌と併せた配布はできないか。」旨の質問がなされ、警察から「効率面、予算面から勘案すると困難である。」旨の説明がなされた。

委員から「不審者も怖い、熊の出没も気になる。いずれも登下校時は警戒を要し、素早い情報提供が求められる。」旨の提言がなされ、警察から「不審者、危険な動物への対処は、自治体等の関係機関と連携を図っている。また、登下校時の警戒を引き続き行う。」旨の説明がなされた。

委員から「今秋、米原駅東口で開催されたイベントに警察車両を展示していただき、参加された親子連れは大変喜んでいて、感謝している。」旨の意見がなされ、警察から「啓発を兼ねた参加者との触れ合いとなった。今後も協力していきたい。」旨の説明がなされた。

4 その他

警察署協議会終了後、当署において、働き方改革の一環として開催中の文化祭を委員が観覧して、作品に対する審査及び投票を行った。